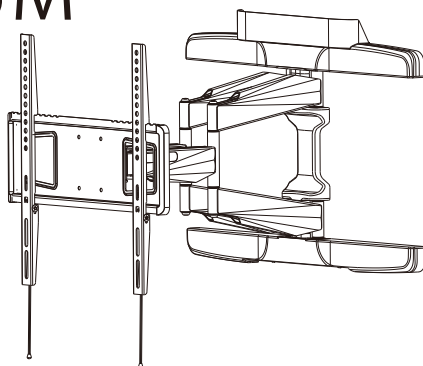


薄型テレビ壁掛け汎用金具
TV セッターフリースタイル



TVSFRVA226M

設置マニュアル




施工者の方へ

設置前に必ずテレビと金具の適合をご確認ください

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦：100～400mm 横：200～400mm	37-65 インチ	35kg 

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。
しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

製品に関するお問い合わせ：0422-38-4912 受付時間10:00～18:00(土・日・祝除く)

販売元：スタープラチナ株式会社

〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F
<https://starplatinum.co.jp/>

設置にあたって：必ずお読みください

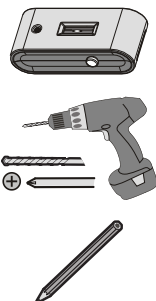


- 必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。
- コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いようにご注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
 - ・振動があるような不安定な場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・湿度や温度の高い場所
 - ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
 - ・開閉するドアの側
 - ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー
壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。
細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー
ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー
電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。
- 4) ペン
壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 5) メジャー
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。
- 6) 柔らかい布
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 7) 軍手
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれません。



さあ、設置・・・の前に

- 設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

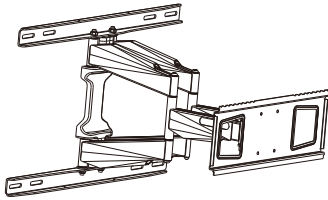
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦：100～400mm 横：200～400mm	37-65 インチ	35 kg

- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

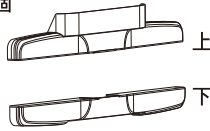
付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

●金具本体 1台



●プラスチックカバー 2個



●テレビブラケット 2本



●サイドカバー 2個

※金具本体に取り付け
されている場合が
あります



A1 (1)



M4×12mmボルト
4本

A1 (2)



M4×25mmボルト
4本

A2 (1)



M5×12mmボルト
4本

A2 (2)



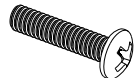
M5×25mmボルト
4本

A3 (1)



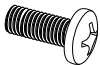
M6×12mmボルト
4本

A3 (2)



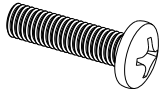
M6×25mmボルト
4本

A4 (1)



M8×16mmボルト
4本

A4 (2)



M8×25mmボルト
4本

A5



スペーサー 4本

A6



角ワッシャー 4枚

カバー止めネジ



M5×8mmボルト
4本

●「壁側」打ち込み用ネジ、及び、その他部品一覧

B1



M8×60mmボルト
6本

B3



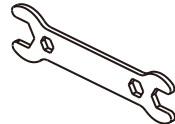
6枚



水平器



6角レンチ



スパナ

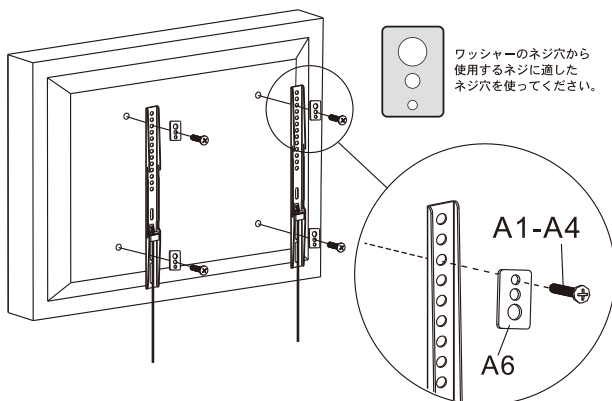
※壁の状態によって、別のサイズや種類のネジがあると作業がし易い場合があります。
その時はホームセンター等でご相談下さい。

ステップ 1 テレビブラケットの取り付け

図を参考にして、テレビに合うネジと角型ワッシャーを使用し、ブラケット 2 本をテレビ背面にネジ止めします。

取り付ける際に上下をよく確認してください。

各種ネジが付いていますので、その中から合うネジを使用しますが、手元のテレビに合う長さや径のネジが無い場合、お手数ですがホームセンター等でご用意ください。

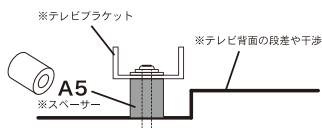


※テレビ背面に段差がある場合やネジの長さが余ってしまう場合は図のようにスペーサー（A-5）を使って調整します。



ご注意

- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一、ブラケットのネジ穴がテレビ背面に合わない場合、お取付出来ません。設置作業を中止してください。



ステップ 2-A 壁の強度の確認と下穴の開口



ご注意

テレビ壁掛けの最重要ステップです

取り付けは、慎重・確実に作業するようにしてください。壁面への取付不備による事故・損害については、保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

最重要ポイント

壁裏の間柱や強度の強い壁に設置を！！「石膏ボードのみ」へのネジ打ちでは強度不足です！

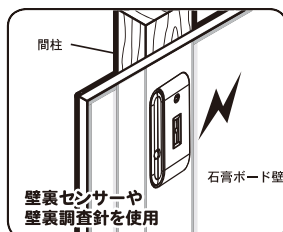
1) 壁の構造の確認（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行ってください。石膏ボード壁の場合、必ず壁裏の間柱を見つけてそこにネジを打ってください。

2) 壁裏柱（間柱・スタッド）の見つけ方

石膏ボード壁の裏の間柱を見つけるには、弊社ショップや工具店等で売っている以下の道具が便利です。間柱は、一般的に 40～50 センチ幅で配置されています。

- 1) 「壁裏センサー」（電波式） 壁の裏にある物体をセンサーします。柱以外の物体にも反応するので、他の方法との併用が確実です。
- 2) 「壁裏検知針」 細い針です。針を刺してみること、壁に目立つキズを付けずに石膏ボード裏に物体があるかを物理的に検査出来ます。



一般的石膏ボード壁の場合。壁裏センサーを使用して間柱を見つめます。壁裏調査針は何度か刺して柱の中央を見つめましょう。

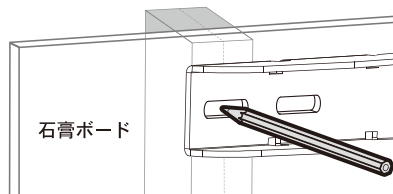
ステップ 2-B 下穴用の位置マーキング

壁裏の間柱のネジを打つ位置にマーキングをします。(補強壁の場合は、お好みの位置) 確定したら金具を壁にあてがい、下穴候補の部分にそれぞれペンでマーキングをします。



間柱に設置を マーキング

壁裏の間柱 (スタッド)



石膏ボード



間柱に沿うように、
ネジ穴の位置をマーキングします

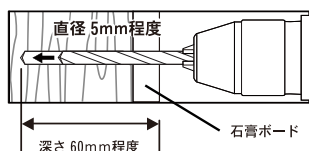
ステップ 2-C ネジ用の下穴の開口

次に、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。

壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。

下穴を開けておくとの作業が楽になり、工事失敗の可能性が下がります。

下穴の寸法目安

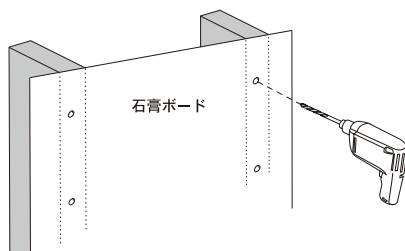


直径 5mm程度

深さ 60mm程度

石膏ボード

壁裏の間柱
(スタッド)



石膏ボード

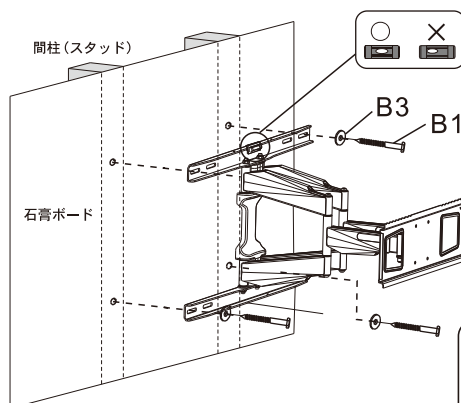
ステップ 3 壁へのテレビ金具の打ち込み

最も大切な部分です。図を参考に壁用ラグボルト [B-1]、ワッシャー [B-3] を使用して金具を壁面にしっかりと打ち付けます。

金具には上下があります。金具の上下をよくご確認の上、作業を行ってください。

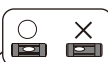


壁へのネジ打ち



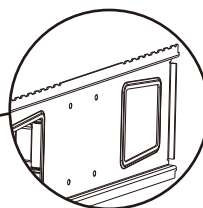
間柱 (スタッド)

石膏ボード



目視や水平器を参考に
水平に設置をします。

B3 B1



プレート部分に
ギザギザがある方が
上になるように
設置します



ご注意

設置は自己責任です。必ず間柱に設置を!

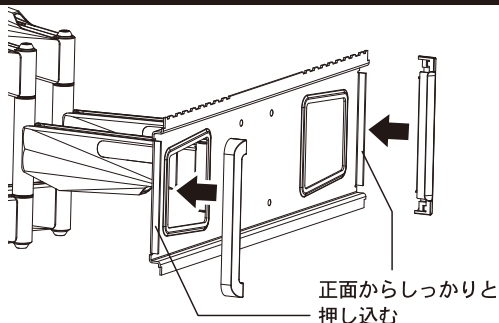
ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら
(ネジの空効き等)

設置を中断し、専門業者に相談してください。

ステップ4 サイドカバーの取り付け

金具のプレート部分にサイドカバーを取り付けます。
金具の両端をカバー裏面の溝に差し込むようにしっかりと押し込んでください。

※固くて取り付けづらい場合があります



ステップ5 テレビの金具本体への取り付け

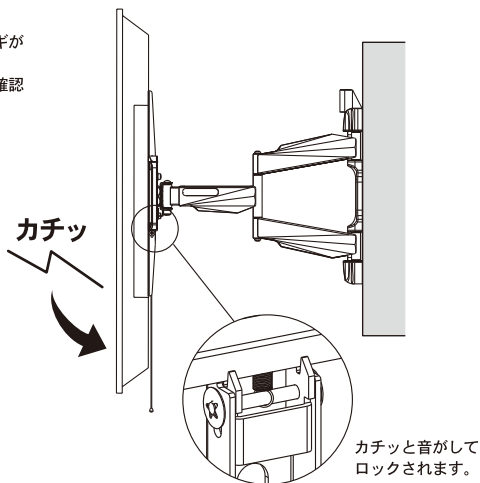
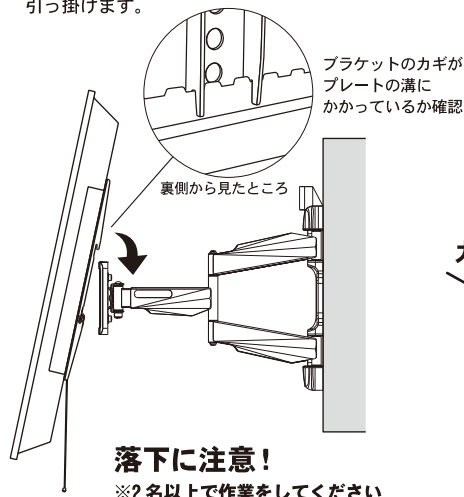
2名以上でテレビを持って、金具本体プレートにブラケットの上部を引っ掛けます。
引っ掛かっている事を確認し、ゆっくりとテレビを垂直に戻すと、
テレビの重みで自動的に下のブラケットがロックされます。
ロックがかからない場合は、カチッと音がするまでテレビの下部をゆっくりと押しします。



二人で作業を推奨

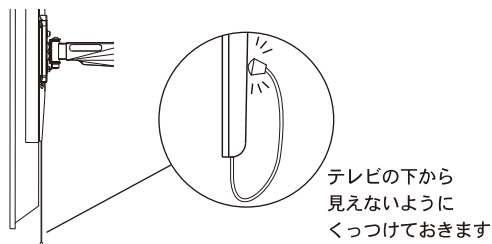
図を参考に、ブラケット上部をプレートに引っ掛けます。

テレビを垂直にすると
カチッと音がしてロックがかかります。



ブラケットから下がっている紐の先端はマグネットになっています。
設置が終わったら金具にくっつけて、
テレビの下から見えないようにします。

※紐はロックを解除するときが必要です。
取り外したり切ったりしないでください。

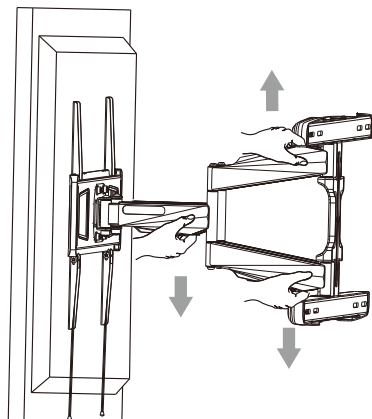


ステップ 6

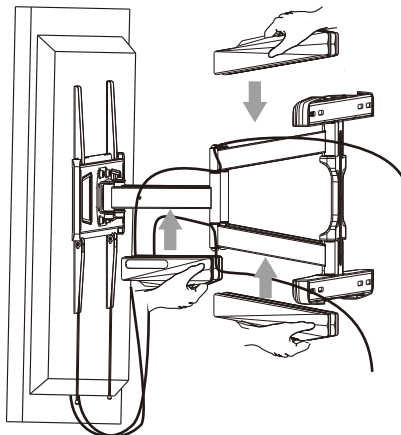
カバーの取り付けと配線処理

ケーブルをカバー内に通すことで、見た目もきれいにまとめられます。

図を参考に、アームに取り付けてある3か所のプラスチックカバーをいったん取り外し、中にケーブルを通して再びアームに取り付けます。

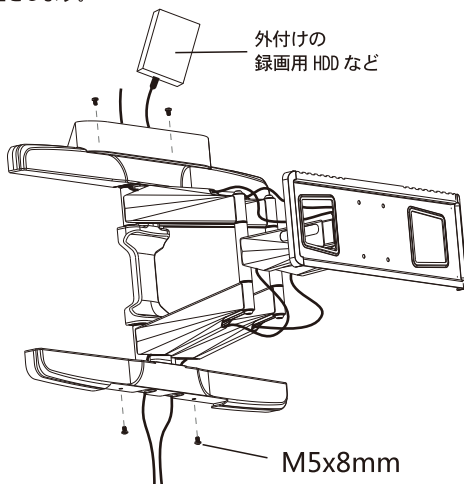
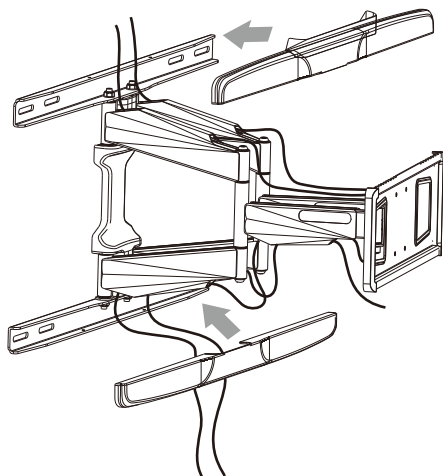


カバーは横に広げてゆっくりと引っ張って取り外します



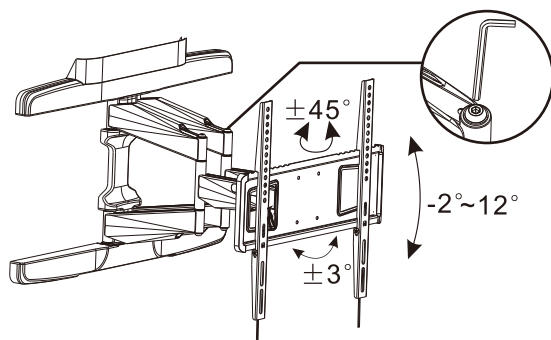
中にケーブルを通してからカバーを取り付けます

壁側のバー部分にもプラスチックカバーをかぶせ、ネジ止めします。かぶせる際にカバー中央の穴にケーブルを通して配線処理をします。



ステップ7 各部の角度調節について

図のように、各部は角度調節が可能です。アーム部分の動きが硬いと感じた時は、丸図内を参考に六角レンチで調節してください。緩めすぎると落下事故の危険があるので、あまり緩めすぎないようにしましょう。



ナットを緩めすぎると外れる危険性があります。ご注意ください。



**アーム部の
緩めすぎは危険！**



角度調節ナットを調整するときは、必ず2～3名様で作業を行ってください。

画面が意図せず俯いてしまう

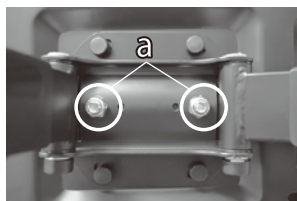


テレビの重さにより画面が俯いてしまう場合、右画像、白丸部分の2つのナット(a)で調節が可能です。



付属のスパナをお使いください

テレビの角度を決めていただいてナット(a)を締めてください。ナット(a)を緩める必要がある場合は、1回転で十分緩みます。それ以上緩めないようにしてください。



画面の水平が取れない、傾いてしまう

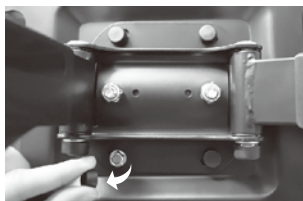
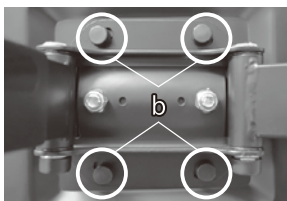


画面の水平が取れない場合、白丸部分の2つのナット(b)で調整が可能です。



付属のスパナをお使いください

ナット(b)には黒いプラスチックキャップが装着されています。下の画像を参考に外してください。テレビの水平を合わせて、ナット(b)を締めてください。ナット(b)を緩める必要がある場合は、半回転で十分緩みます。それ以上緩めないようにしてください。



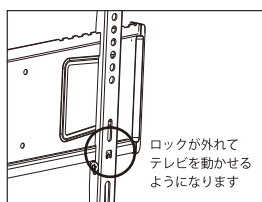
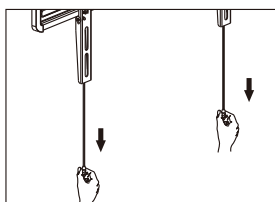
①

②

ステップ8 取り外す時

ブラケット下の紐を引っ張り、ロックを解除します。

引っ張ったままテレビを少し斜めに浮かせて、2人以上でテレビを持ち上げて外します。



ロックが外れて
テレビを動かせる
ようになります



最後に

各取り付け部分や壁面部にガタつき等がないか、チェックしてください。
緩みがあった場合は、しっかりと締め直しましょう。少しでも違和感があった場合、
テレビを一旦取り外し、専門業者に相談してください。
これらのチェック作業は3か月程度を目安に定期的に行い、
経年使用による落下などが無いように注意してください。